

平成29年度 決算 報告

天草市の平成29年度の決算（平成29年4月1日～同30年3月31日までの歳入と歳出の実績）がまとまりました。

どのようなお金が入ってきて、どんな事業に使ったのか。また、これらの数字から市の財政事情はどうかを見ていきます。

【問い合わせ先】本庁・財政課(三貴ビル内) ☎05053

平成29年度の一般会計の決算は、歳入が前年度と比較して28.8億円(5.1%)の増で594.2億円、歳出が27.7億円(5.2%)の増で564.2億円となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は30.0億円、この額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は25.3億円の赤字となりました。

歳出
総額 **564.2億円**

(対前年度比 5.2%増)

歳出のトップは扶助費

歳出決算額を性質別にみると、扶助費などの義務的経費が261億円(46.3%)、補助費等などのその他経費が205億円(36.3%)、普通建設事業などの投資的経費が98.3億円(17.4%)となりました。

歳入
総額 **594.2億円**

(対前年度比 5.1%増)

歳入の約73%が依存財源

歳入決算額を財源別にみると、市税などの自主財源が162.9億円(27.4%)、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が431.3億円(72.6%)となりました。

【性質別のお金の使い道】

●扶助費

生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために使いました。

●公債費

国や銀行などから借り入れたお金の返済に使いました。

●補助費等

広域連合(消防やごみ処理)に対する負担金や水道・下水道・病院事業への補助金などに使いました。

●繰出金

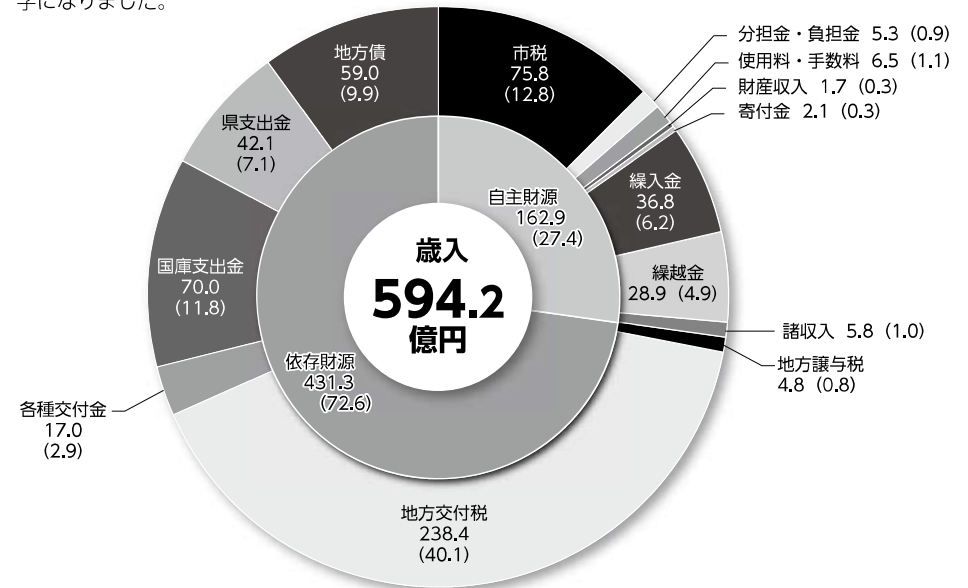
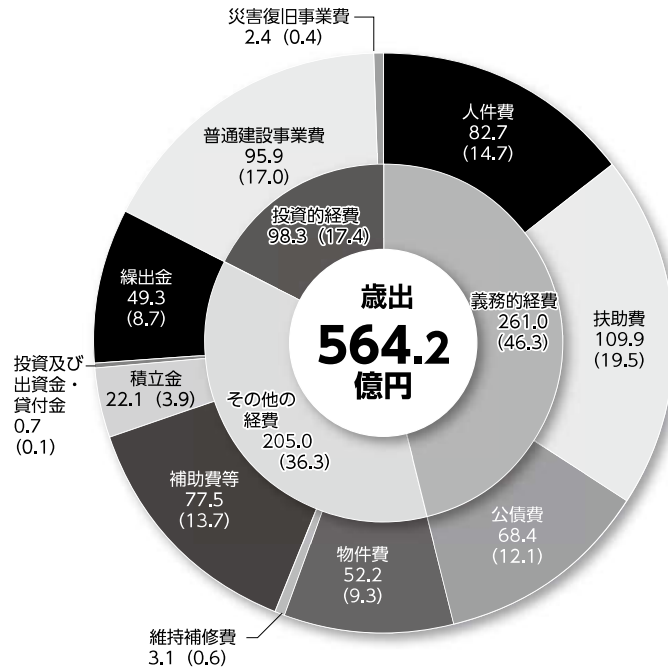
特別会計へ援助するために使いました。

●物件費

賃金や旅費、物品の購入費、委託料、賃借料など消費的な性質に使いました。

●普通建設事業費

道路や橋りょう、公園、庁舎や学校建設などの社会資本の整備に使いました。



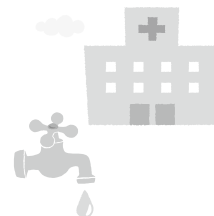
(単位:億円、カッコ内は%)

※金額と構成比、増減率は表示単位未満を四捨五入しています。

企業会計の 決算状況

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置するものです。

区分	収入	支出	
水道	収益的収支	27億 615万円	25億9,870万円
	資本的収支	3億8,558万円	14億7,744万円
下水道	収益的収支	19億6,421万円	18億 783万円
	資本的収支	5億9,675万円	12億5,687万円
病院	収益的収支	37億 261万円	38億 135万円
	資本的収支	2億8,798万円	4億6,395万円



特別会計の 決算状況

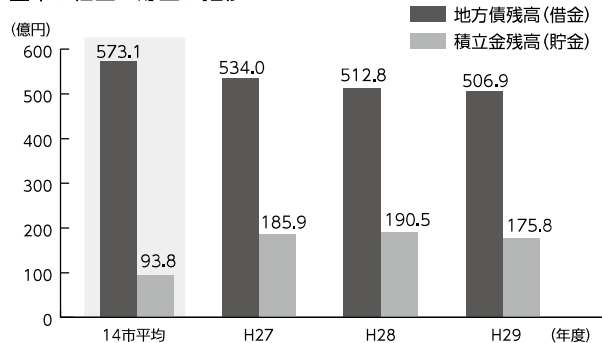
特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して会計処理をしたほうが望ましいときに特別会計を設けています。

区分	歳入	歳出
国民健康保険	154億4,279万円	149億3,550万円
介護保険	113億9,704万円	108億9,747万円
後期高齢者医療	11億6,373万円	11億6,084万円
浄化槽市町村整備推進事業	1億1,442万円	1億1,431万円
国民健康保険診療施設	2億 167万円	1億8,568万円
歯科診療所	6,248万円	5,620万円
斎場事業	1億 493万円	1億 212万円

天草市の財政状況

市の財政状況の良し悪しは、1つのものさしだけでは測れません。さまざまな指標を県内14市の平均値やこれまでの推移と比較しながら見ていきましょう。

市の借金と貯金の推移

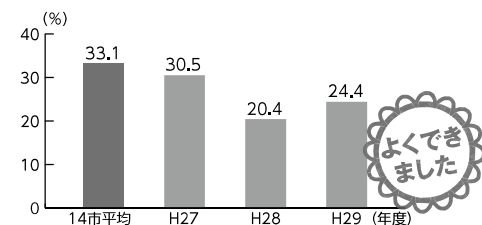


●地方債（市の借金）
財政運営の基本方針として、借入額は元金返済額より超えないようにしているため、毎年減ってきています。
借金は前年度から5.9億円、5年間で67.4億円減少しました。

●積立金（市の貯金）
借金を控えて貯金を多く取り崩したので、前年度より14.7億円貯金が減りました。

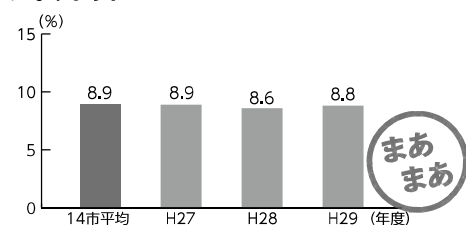
将来負担比率

借金の返済や職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度かを示す指標で、前年度より4ポイント増えました。この割合が高くなるほど、将来財政を圧迫する可能性が高いということになります。



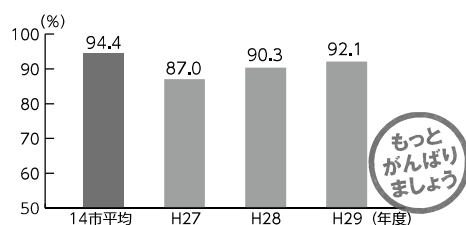
実質公債費比率

収入に対する一般会計などの借金の返済の割合を見るものです。この割合が高くなるほど資金繰りが悪くなっていることとなります。18%を超えると、借金をするときに国の許可が必要になります。



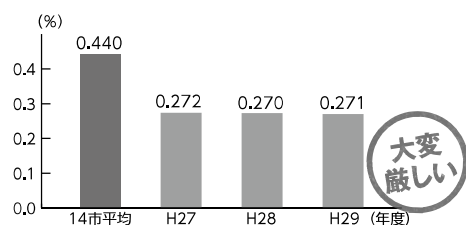
経常収支比率

市税や普通交付税など経常的に入ってくるお金を、社会保障費や人件費など経常にかかる経費にどのくらい使っているかを見る指標です。この比率が高いほど財源に余裕がないことになり、前年度より1.8ポイント悪化しました。






財政力指数




標準的な行政活動を行うために必要な財源を、自力でどの程度調達できるかを見る指標です。指数が小さいほど財政力が弱く、交付税や補助金などに頼っていることを示します。





市の予算はこんなことに使いました

一般会計の歳出を市民1人当たりで換算すると、年間で69万1,530円（H30.3.31現在の人口で計算）。市税の収入は、1人当たり9万2,941円ですから、不足する59万8,589円は地方交付税や国・県からの支出金などで補っていることとなります。

項目	民生費	総務費	公債費
決算額	172億931万円	102億633万円	68億3,618万円
市民1人当たり	21万927円	12万5,094円	8万3,788円
決算に占める割合	30.5%	18.1%	12.1%
主な事業	高齢者、障がい者、児童の福祉推進などに 	総務・財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに 	施設整備などで借りたお金の返済に 

項目	衛生費	教育費	消防費
決算額	62億6,800万円	56億370万円	29億6,804万円
市民1人当たり	7万6,824円	6万8,682円	3万6,378円
決算に占める割合	11.1%	9.9%	5.3%
主な事業	健康増進事業やごみ、し尿処理などの環境保全に 	学校の運営管理やスクールバスの運行、施設整備などに 	消防活動や消防施設の整備に 

項目	農林水産業費	土木費	その他の経費
決算額	27億7,652万円	25億4,667万円	20億651万円
市民1人当たり	3万4,031円	3万1,213円	2万4,593円
決算に占める割合	4.9%	4.5%	3.6%
主な事業	農業、林業、水産業の振興などに 	道路、河川、公園、市営住宅の整備などに 	商業、観光、議会運営、災害復旧費などに 